

音読集会を終えて

1月16日（土）に音読発表会が行われました。昨年度までは、平日の集会の時間に、一学年ずつ発表しましたが、今年度は土曜授業の日に、三学年一緒に発表することにしました。第一体育館が工事の関係で使えないため、第二体育館での発表でしたが、どの学年も練習の成果が表れていた音読集会となりました。たくさんの保護者の方のご参観、ありがとうございました。



2年生

2年生は歌を歌うことが好きな児童が多いので、歌も入れた「スイミー」の音読に挑戦しました。練習のはじめには「カッコいい音読発表にしよう」というめあてを全員で話し合って決めました。

一人一人がめあてに向かって一つになれるよう練習を積み重ね、ピアノから小道具の操作まで子供たちだけでやり通す姿に1年間の大きな成長を感じることができました。（2年 担任）

4年生

4年生では、「ありがとう」をテーマにして音読集会に臨みました。児童一人一人に台詞を担当させることで、参加意識を高めたうえで、特に台詞を滑舌よくはっきり発音して言うことに重点をおいて指導してきました。他の学年に「感謝の気持ちを大切にすること」を伝えた発表をすることができました。

（4年 担任）



6年生

6年生は、これまで学習してきた英語力を活かし、「The Giant Turnip（大きなかぶ）」の英語劇を行いました。英語のセリフを覚えるのには苦戦していましたが、身振りを入れながら表現し、楽しい劇に仕上げることができました。

今回の音読集会の経験を、中学校での英語の学習や発表などに活かしてほしいです。

（6年 担任）





むし歯は病気？

養護教諭

年度初めの健康診断では、異常や病気の疑いが見付かった場合、結果と共に、治療を勧めるお便りをお渡ししています。視力がとても低かったり、音が聞き取りにくかったりすると、すぐに医療機関へ受診した結果が返ってきます。本校の治療報告書提出率を見ると、その他の治療勧告についても、6月から始まる水泳学習へ安全に参加できるように、早い時期に医療機関へ受診をする傾向にあります。しかし、歯科検診結果のむし歯だけは、違った傾向にあるようです。

検診でむし歯が見付かった児童に対し、「むし歯って病気かな？」と聞くと、「菌がいるんだから、病気だよ」という児童もいれば、「わからない」という答えが返ってくることもあります。初期のむし歯は目立った自覚症状もないため、「歯が溶かされてしまう病気」という認識が薄いようです。また、永久歯のむし歯と乳歯のむし歯を比べると、永久歯の治療率が高く、乳歯のむし歯だけの場合、受診率が下がります。今年度は、検診でむし歯が見付かった児童全員が、歯科医院へ受診をし、「むし歯ゼロ」になることを目標にしています。健康な歯は、一生の宝物です。すでに罹ってしまったむし歯を早めに治す早期治療の意識だけでなく、むし歯にならない生活習慣を身に付けることができるように、健康教育を行っていきます。

書き初め大会を終えて

国語部

新年を迎え、1月12日（火）～19日（火）に、学年ごとに体育館や教室で、書き初め大会を行いました。どの児童も真剣に取り組み、お手本をじっくりと見て、とめ・はね・はらいに気をつけ、一筆一筆集中して書き上げていました。冬休みの間に、何枚も練習をしたという児童もいました。

今年度も、1年生～6年生をすべて同じ場所に見られるよう1・2・6年生は調理室前に、3・4・5年生は生活科室に展示をしました。様々な学年の児童の書いたものを見ていただけたでしょうか。展示された作品からは、書いた児童の一生懸命さが伝わり「今年もがんばるぞ」という気持ちを感じました。

